

第15回原子力安全検証委員会 議事速報

1. 原子力発電の安全性向上に向けた取組状況および監査結果

(1) 美浜発電所3号機事故の再発防止対策の取組状況

美浜発電所3号機事故の再発防止対策の取組状況について報告し、審議。主なご意見等は以下の通り。

○技術伝承に関して、定年延長の方に技術指導をしていただいているという、個人の技術力のみを頼って維持しているのではなく、システムとしてやっているのがポイントである。そこは制度的にしっかりさせています、という点を明確に述べるべきではないか。(山口副委員長)

○40年超に関して、40年間、配管等を交換せずずっと使用していると住民は誤解しているのではないか。交換していることをきちっと説明する必要がある。(小澤委員)

○バス見学会のとき、アンケートとは別にサイエンスカフェのようなリラックスした雰囲気で見聞交換会の場を作っていくと、より多くの意見を得ることができると思う。(松本委員)

○40年超のチラシに関して、例えば、A3ぐらいの大きさを、写真等を使用して、これまでの設備更新実績等の全体像がわかるようなものを作成して、説明した方が一般の方にはわかりやすいと思う。(松本委員)

○チラシ等を読んでもらうには、相手の立場にたって作ることが大事であり、例えば、見出しにも工夫が必要である。見出しの部分が一人歩きして、伝わってしまう危険がある。(渡邊委員長)

○美浜発電所3号機事故の再発防止に向けた活動に関して、ポイントを押さえた活動に進化させるため、検証委員会の意見等をフィードバックして効果を確認する仕組みを検討されたい。(山口副委員長)

(2) 高浜2号機クレーン事故再発防止対策の実施状況について

高浜2号機クレーン事故再発防止対策の実施状況について報告し、審議。主なご意見等は以下の通り。

○未然防止の視点から、他の一般産業の工事現場で起きている事故の教訓を有効に活用する仕組みを検討されたい。(荒木委員)

○作業に慣れておられる方も多いため、リスク感受性が定着しているかは、アンケートだけではなく、他の方法でも把握する必要があるのではないか。(小澤委員)

○リスク感受性について、現場の作業員にリスク概念と言っても通じているのか。具体的に、例えば、この装置が壊れたら、といったような質問を投げかけることなどをしていく必要があるのではないか。(小澤委員)

○高浜2号機クレーン事故再発防止対策の取組状況に関する資料について、写真等を使用して、「KIYOMASA」システムを入れた等を、A4一枚で作成すれば、資料のビジュアル化により理解が進むのではないか。(松本委員)

○トップの方によるプラントウォークダウンや訓示、安全文化に関する教育などが実施されていることは評価できる。トップのリーダーシップとマネジメントシステムと安全文化は相互に関係している。それらがまとまりのある一連のものとなるよう、推進していただきたい。(山口副委員長)

(3) 「原子力発電の安全性向上に向けた自主的かつ継続的な取組みのさらなる充実(ロードマップ)」の取組状況および監査結果

「原子力発電の安全性向上に向けた自主的かつ継続的な取組みのさらなる充実(ロードマップ)」の平成29年度上期の進捗報告書作成の考え方、および平成29年度上期の進捗状況・同監査結果について報告し、審議。主なご意見等は以下の通り。

○ロードマップについて、リード文と説明との対応関係がわかりにくい。整理されたい。(荒木委員)

○電力各社と協力して可搬型代替低圧注水ポンプのアタッチメントや、独立オーバーサイトの取組み等、電力会社で協力してされている取組みは、相互のレベルアップ、品質の一定化等につながり、一般の方の安心につながるため、各社と共同で実施しているとき、どのような体制で実施しているか、整理して出されると意義があるのではないか。(山口副委員長)

- 監査結果について、「気づき」とすると、問題であると認識が低いと思うため、よりよくしていくためには、「改善要望」として出した方がいい点があると感じた。
(山口副委員長)
- 一旦、資料を作成された後、例えば、事務に携わっている社員に分かるか、聞いて、作成してもらった方が、理解されやすい資料になるのではないか。(小澤委員)
- 防災訓練の実施について、いい評価を得ることが目標ではなく、問題点を洗い出すことが目的であることを忘れないでほしい。(小澤委員)
- ロードマップの安全性向上対策や防災訓練などに一般市民は関心があるので、全景のイラストに矢印をつけ、取組んでいる対策工事（電源車、ポンプ車、配備含め）をできるだけ写真も入れ、示してほしい。また、防災訓練についても、もし事故が起きたときにどのような対策を取っているのか、A3で、訓練している人の様子の写真なども入れる等、一覧にしてわかりやすくしてほしい。(松本委員)
- 安全文化は、IAEAの定義では、氷山のように見えないところが大きいものであり、安全の意識やPDCAがまわっていることだけで、安全文化は測れるものではなく、監査をするときもそれを念頭に、別会社を監査している意識で監査してほしい。(小澤委員)

2. 原子力安全検証委員会からいただいたご意見を踏まえた取組状況

原子力安全検証委員会からいただいたご意見を踏まえた取組状況について報告し、審議・了承。主なご意見等は以下の通り。

- 監査に関して、ロードマップのありたい姿のワンワード毎について、きちんと実現されているか、レビューするという視点で監査することが重要である。(山口副委員長)

以 上